



深川社協だより

# ふかわ

第 59 号  
2022.9.1

絵は河野香代美さん(深川1丁目)

■編集発行 深川地区社会福祉協議会広報部会



令和4年6月12日アクロスプラザ駐車場で献血バスにおいて献血活動が行われ、99名の来場者があり、内89名の方に献血いただきました。

深川学区献血推進協力会



ご挨拶

深川地区社会福祉協議会  
会長 山口悦朗

この度、向井文武前会長の後を受けて深川地区社協会長を仰せつかりました山口と申します。力不足の点は重々承知しながら、少しでも地域の福祉活動を進めるべく、理事の皆さんと連携・協力しながら歩んで参る所存です。どうかよろしくお願いいたします。

さて、私は数年前より深川社協の常任理事として、主に社協広報紙の編集に携わってきました。活動する中で地域に住んでいらっしゃる多くの皆さんと知り合い、かわりあいながらいろいろ教えを受けました。また共に汗を流しながら、紙面づくりができて良い経験となりました。

ところでコロナ禍の中、地域が行おうとしていた諸行事が縮小、中止となって3年目。「いきいきサロン」に参加されておられる皆さん、お元気でしょうか。「近隣ミニネットワークづくり」は、コロナ禍の今こそ大切な推進事業です。

深川には地域のために活動している方がたくさんおられます。子ども達のために、高齢者のために、お互いの健康づくりのために、環境美化のために、災害のないまちづくりのために……。そういった方や団体に支えられて深川があります。情報を共有し、深川の未来を語り、それから見える課題を一つずつ解決、実践していけたらいいなと思います。力を結集していきましょう。

### 退任のご挨拶

向井 文武

私議 高齢化に依り、深川地区社会福祉協議会の会長を退任することを、令和四年総会にて承を得ました。

今後は、山口悦朗様が会長に選出され、就任運営されることとなりました。

さて、私こと平成十三年に長年地域福祉に専念され、多大な功績と貢献を成してこられた、森岡正様から後任後継を勧められました。到底この任を担う程の力量もなく、辞退しておりましたが、先輩諸氏のお勧めにより、後任会長を引き受けました。以来今日まで二十二年間皆様の指導ご鞭撻お力添えを戴きながら、大過なく任務を果たすことが出来ました事を厚くお礼申し上げます。今後に於きましては皆様より賜りました知識や経験を活かし、微力ではありますが、地域住民の誰もが安全で安心して住み暮らせる、つながりと支え合いのある地域活動を致していく所存であります。

終わりになりますが、深川地区社会福祉協議会のみならずの発展と、地域住民皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしました。退任のご挨拶とさせていただきます。

誠に有難うございました。重ねて厚くお礼申し上げます。

### 社協よりのお知らせ

#### 令和4年度の「敬老会」は中止といたします

周知のごとく新型コロナウイルス感染症は、なかなか収束を見ることのない中、多くの高齢者が集う「敬老会」は三密(密閉、密集、密接)状態を避けることが出来ません。そこで予防の観点から、やむなく今年度も「敬老会」は中止とさせていただきます。お祝い品(令和4年6月30日現在で75歳以上の方に)をお届けさせていただきます。皆様のご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### 車椅子貸し出しのご案内

深川地区社協では車椅子の貸し出しを行っています。希望される方は社協事務所(毎週水曜日午前中開設)まで連絡してください。

TEL・FAX 082-824-8501



現在2台の車椅子が利用できます



### 愛のともび

深川地区社会福祉協議会に対し、福祉事業の活動にお役立てくださいと、次の方々から香典返し他のご厚志をお寄せいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

(令和四年一月〜七月)

- 岡本 雅治 (深川五丁目)
- 川西 博人 (深川七丁目)
- 沢村 芳春 (深川八丁目)
- 和田 貢 (深川三丁目)
- 山村 幸佑 (深川二丁目)
- 草田 憲一 (西区小川内二丁目)
- 堂原 誉之徳 (深川七丁目)

香典・見舞い返し・その他皆様の善意の募金をお寄せください。お寄せいただいた募金は深川地区社会福祉事業の活動に役立てさせていただきます。

【深川地区社会福祉協議会】

令和4年度 深川地区  
社会福祉協議会役員・理事名簿

令和4年4月25日現在

■ 常任理事

【順不同・敬称略】

役職名	氏名	所属団体名
会長	山口 悦朗	陰地自治会長 保護司
副会長	中川 英子	深川女性会会長 地域福祉推進委員
副会長	福岡 壽	深川地区自治会連合 会会長 中郷自治会長
事務局長	山口 昌利	院内自治会長
会計	加藤 洋子	上庄地区福祉委員
事業部長	大下 秀明	下庄自治会長 保護司
広報部長	小野 光雄	深川台自治会長
福祉部長	東 美貴子	尾和地区福祉委員
民児協代表	牛尾 孝慈	民生委員・児童委員
学区老連会長	山沖 満穂	下深川福寿会会長

■ 監事

役職名	氏名	所属団体名
監事	川端 忠男	深川台福寿会会長 深川地区防犯組合連合 会会長
監事	山村 佳子	民生委員・児童委員

■ 理事

役職名	氏名	所属団体名
理事	向井 高長	奥迫自治会長
理事	岩田 和昭	西塚自治会長
理事	平田 一昭	上庄自治会長 深川学区公衛協会会長
理事	平野 雅幸	尾和自治会長
理事	松本 正樹	深川学区自主防災連合会会長
理事	田上 誠也	深川学区体育協会会長
理事	西村 牧生	深川地区青少協会会長
理事	荒川 忠臣	中深川福寿会会長
理事	沖 隆義	深川小学校 PTA 会長
理事	田辺 あやこ	深川学区子ども会育成協議会会長
理事	原 妙子	深川地区母子寡婦福祉会会長
理事	橋岡 由夫	深川消防団分団長
理事	岩本 秀子	主任児童委員
理事	戸澤 孝子	民生委員・児童委員
理事	増井 俊博	民生委員・児童委員
理事	林 孝治	民生委員・児童委員
理事	藤井 真理	民生委員・児童委員
理事	小島 多喜子	民生委員・児童委員
理事	立川 幸恵	地域福祉推進委員 陰地地区福祉委員
理事	田中 優子	奥迫地区福祉委員
理事	岡部 俊子	中郷地区福祉委員
理事	桐木 弘子	深川台地区福祉委員
理事	多川 洋子	西塚地区福祉委員
理事	川西 雅子	院内地区福祉委員
理事	一色 寿子	下庄地区福祉委員

収入の部

○繰越金	1,411,056
○助成金収入	
深川地区自治会連合会	100,000
地区社協運営費	60,000
共同募金実績割金	130,720
福祉の町づくり総合推進事業	150,000
広報紙助成金	15,000
拠点整備事業	15,000
○寄付金収入	350,000
○負担金収入（敬老会参加者）	100,000
○雑収入（預金利息）	10

収入合計 2,331,786

支出の部

○会費（区社協会費）	100,950
○事務費	230,000
○会議費	20,000
○広報費	100,000
○福祉事業費	
①福祉の町づくり総合推進事業費	340,000
②地区社協自主事業費	680,000
○助成金	150,000
（女性会、福寿会、青少協、体協、子ども会）	
○予備費	710,836

支出合計 2,331,786

令和4年度  
深川地区  
社会福祉協議会  
予算



## みつば会

(西塚・中郷・院内)

久都内 キミエ

昨今コロナウイルス感染も全国的に拡大し、なかなか収束するとは思えません。

いつまでマスク生活をするのでしょうか？

人との絆を深め心豊かに過ごしたいものです。

みつば会も毎月開催することが出来ません。今年に入り5月・6月と検温、手指の消毒、マスク使用等徹底的に予防して開催しました。

「げんきだった・・・さみしかったよ・・・会いたかった」と口ぐちに会話されていました。

人と会うということは、人生の生きがいです。

今回は室内グラウンドゴルフを2チームに分けて2ゲーム試合し、合計点数で競い合いました。

「ホールインワン？ あっボールが出た」と声を出してうれしそうな笑顔。

からだ全体で運動し、心身ともにリフレッシュし、楽しいひと時で試合も終了しました。最後に全員で、定例の「これから音頭」を口ずさみ解散しました。まったく見えないコロナもいつまで続くかわかりません。健康には十分注意し、定期的に身体を動かし、人生百歳をめざして、一日一日を楽しく暮らしましょう。



## ふかわの昔 〜上庄編〜

下深川上庄は、北に三篠川、南に山との間に位置し、昭和の半ばころまでは田畑が一面に見渡せるのかな純農村地帯でした。今では宅地化が進み、家々の間に田畑がまばらに残るのみとなりました。この60年ばかりの間の変化には目を見張るものがあります。その変わりようを見てみましょう。

対岸にあった金明鉱山(昭和36年閉山)から出た銅鉱石は、トロッコで川を渡り、上庄の川原で降ろされ、下深川駅の貨物車へと運ばれていました。昭和38年にはジューキ広島製作所(現双葉工業)が開業し、深川近在の人々が働く活気あふれた地区でもありました。昭和47年からの高陽ニュータウンの開発により、緑豊かな南の山々は家並みの続く団地へと姿を変え、下深川駅も線路の横にあったものが昭和58年には橋上駅として橋の上に移りました。このように時代の流れによる急激な変化を経て来た地区ですが、昔から変わらず上庄の人々が大切に守り、伝えてきた祠があります。

一つは「上庄おんばんさん」(黄幡社)です。もとは西山の観音下にありましたが、湿気が多く日陰だったため現在地に移されたもので郷土の守護神として信仰されたと思われれます。もう一つは「花の木観音堂」です。往古から南天観世音菩薩として崇拜し郷土守護仏なり」とされ、こちらは守護仏として信仰されたと思われれます。南側山の手の小高い山すそに神様と仏様の祠が並んで立っているという珍しいものです。人々は毎年3月には祭りを挙げており、これからも上庄の人々の手によって変わることなく受け継がれることでしょう。



下深川黄幡さん(奥)と花の木観音

深川郷土史研究会

升尾 成美